

San'in Kaigan National Park

山陰海岸国立公園

つながりをつ紐解くストーリー

多様な海岸線がおりなす景観美
季節風と日本海の荒波が紡ぐ地域文化



自然と共に生きる、
そんな暮らしに
出会える場所



その自然には、物語がある。

Stories to experience - National Parks of Japan -



多様な海岸線がおりなす景観美 季節風と日本海の荒波が紡ぐ地域文化

つながりを紐解く ストーリーを探して

暮らしの中にある国立公園

山陰海岸の雄大かつ繊細な自然景観は、長く私達を魅了してきました。この地で厳しい自然と共に生きる人々の営みに触れると、人間の逞しさ、知恵と工夫の奥深さに驚かされます。本書では、そんな山陰海岸国立公園の「つながりを紐解くストーリー」をご紹介します。地域に暮らす人に出会い、そのストーリーを探しに行きましょう。

山陰海岸国立公園 日本海沿いの大パノラマ

京都府京丹後市から鳥取県鳥取市に至る約75kmの海岸部が山陰海岸国立公園に指定されています。その大部分が、山地が直接海に接するリアス海岸です。海岸は日本海の荒波と季節風によって削り取られ、変化に富んだ海食地形を見ることができます。

その一方で、海食や河口から運ばれた砂により形成された鳥取砂丘に代表される開放的な砂丘の景観も特色であり、さまざまな岩石や地形から成り立っていることから「海岸地形の博物館」とも表現されています。2010年には山陰海岸国立公園を中心とする「山陰海岸ジオパーク」エリアが世界ジオパークに認定され、山陰海岸の価値が世界的にも認められています。



ストーリーのあるところ

山陰海岸国立公園 つながり図

この地をつくる地形・地質、気候、自然そしてそこに暮らす人々の生活と文化

多雨・多雪

豊富な水がなだらかな大地に湿地帯をつくる

湿った空気を含む季節風が山にぶつかり、雨雪を降らせる

温泉

地下の温水が断層を伝わって地上へ出てくる

コウノトリ

多様な地形・地質

氷期後に海面が上昇して形成

漁村の暮らし
北前船の風待ち港

麒麟獅子舞

山からの栄養と砂が川から海へ

砂丘の農産物

海浜植物群落

砂丘

海食地形

リアス海岸

冬の厳しさを乗り越えてきた風土

冬の波風が砂を海から内陸に運ぶ

豊かな漁場
(磯や砂地：カキ、ワカメ等)

海水と空気の温度差で水蒸気が発生

日本が大陸から分離して巨大なくぼ地(日本海)を形成

冬の季節風・荒波

豊かな漁場
(暖流を好む：ブリ等)

対馬暖流

日本海固有水

豊かな漁場
(深海性：ズワイガニ、ベニズワイガニ、ハタハタ等)

季節風・荒波

冬季に北西から吹きつける季節風とそれがもたらす荒波が、海岸線を削り、地域の暮らし・風土を磨いていく。

多雨・多雪

山陰は「弁当忘れても傘忘れるな」と言われるほど雨や雪の多い地域。季節風は対馬暖流から発生する水蒸気を含み、山地にぶつかり雪を降らせる。雪解け水は山からの栄養を運び、地域のおいしい食へつながってゆく。

多様な地形・地質

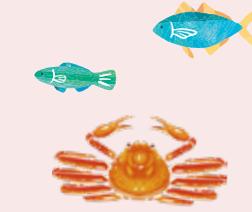
山陰海岸には日本列島が大陸の一部であった時代から、日本海が形成され現在にいたるまでの地球の歴史がぎざまれている。ここで見られる多種多様な地形・地質が生き物たちの暮らしを作り出した。

牡蠣・フルーツ



砂州によってできた穏やかな湾の中で育つ牡蠣と、砂地で育つフルーツや野菜は、そこに暮らす人々の工夫の結晶。

6



のつながり

～読み解くストーリー～

コウノトリ



かつての円山川は広大な湿地帯を生み出した。今では水田として、コウノトリの絶好のえさ場となっている。

3 リアス海岸



芸術作品のような海岸線に並ぶ自然の造形物は、荒波が作り出した。その造形は海中にも及び、竜宮城を思わせる光景を作り出す。

4 漁村の暮らし



複雑なリアス海岸と厳しい気候の特徴を活かし、海と生きる人々の暮らし。小さな集落が点在する個性豊かな地域。それぞれの集落での生活は今も続いている。

麒麟獅子舞

5



日本海からの季節風と荒波。先祖代々暮らし続けてきたこの土地で、厳しい風の季節での無事を願い、幸せを呼ぶ麒麟獅子舞を大切にしてきた。

鳥取砂丘

6



日本最大級の砂丘。砂の動く生きている砂丘を将来へ守り、育て、つなぐために人々は保全と再生を続けてきた。

松原先生に聞く！

地質学者から見た山陰海岸

山陰海岸の地形・地質の面白さはどこにありますか？

日本海にせり出し荒波に削られた岩石が「見て！」と主張しているよう。

山陰海岸の面白さは、地質そのものが「見て！」と主張するように存在し、そのダイナミックな地形の中に人々が住んでいることです。人々は自然の恵みを利用し、時には牙をむく気候や地震、地すべりなどの地球の様々な現象をいなしながら生活しています。例えば地すべり地には地蔵が置かれ災害が起こらないよう祈りが捧げられているなど、自然と共に生きるための人々の暮らしぶりが伝わってきます。

日本海に面する険しい海岸線は、日本列島が大陸から離れて今に至るまでの様々な過程を記録した地形・地質でできています。これらは日本海にせり出し、荒波に削られて断面があらわになることで、多様な地質を観察することができます。このエリアでは、日本海形成前後の大地の動きにより、凹みに土砂が堆積したり、火山活動が起こる等、様々なできごとが起こりました。それにより、様々な地質学的特徴をもつ岩石が狭い範囲に集中する、地質の多様性が豊かな場所となりました。

また、山陰海岸の特徴はそのような場所に人が住んでいることです。普通、険しい地形が続く場所にはあまり人が住んでいないことが多く、大きな平野に集落が作られるものですが、山陰海岸では山や谷が繰り返され、それが海まで続く中に小さな集落が点在しています。険しい地形でありながらも人々が住み続けている点が、山陰海岸のすごいところだと思っています。

ダイナミックな海岸線の中に、人々の暮らしがある。力強い海岸線の中に、人々の暮らしがある。

兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科

松原典孝氏

1980年、栃木県生まれ。博士（理学）。専門は地質学。こどものころの外遊びを通じて地質学に関心を持つ。中学生の時に阪神淡路大震災が発生し、地球の現象によって人々が困難に直面する事に衝撃を受け、自分も何か役立ちたいと考え、地質学を志す。大学では日本海形成を研究テーマとし、博士課程を修了。山陰海岸ジオパークの募集を見つけ、2010年より現職。現在の活動は大学院での教育研究活動、地域でのジオパーク活動支援、日本や世界のジオパーク活動支援など多岐にわたる。2024年より山陰海岸ジオパーク推進協議会アカデミックディレクターに就任。

先生が個人的に好きなところは？

日本海形成を記録している地層が見られる竹野や但馬御火浦などは、よく訪れる場所です。

日本海形成のような大地の動きでできた凹みは現在大部分が海の底に沈んでしまっているため、水中に潜らなければ基本的には見ることができません。しかし、日本海沿岸にはその証拠となる地層や岩石が地表に表れており、それは山陰海岸の陸地にも続いています。ここでは、凹みやその周辺でたまった堆積物が見られ、動物の足跡化石や立木の化石、貝類や魚類の化石なども観察できます。

また、玄武洞は地磁気逆転現象提唱の地として、地質学の聖地のひとつであり、非常に美しくもあるので好きな場所の一つです。

山陰は食べ物全部美味しいです。但馬牛や、糖度の高い砂丘フルーツ、カニ等の海産物、甘くて美味しいお米や野菜など、食の宝庫です。

山陰海岸国立公園に来られた方に感じてほしいことは？

この地に住む人々の、地形地質への理解、工夫に驚いて欲しい。

ダイナミックな海岸からなる場所ですが、住みたくするような自然の恵みがあることから生活が続いているのだと思います。海側に限らず山側でも険しい場所に集落があり、当初はとても驚きました。

豊岡は地形的に洪水が多い場所ですが、昔の家を見ると地域にある玄武岩などの岩石を使って石積みを作り、洪水が家が浸からないよう高くしているのが分かります。災害がある地域だから住まないのではなく、地形地質の特徴を理解し、上手く利用して暮らす工夫がされているのが特徴だと思います。

また、自然や地形の険しさや冬の厳しさとは裏腹に人々の温かさ魅力です。地域の会合に出る際、子ども連れで参加しても皆が子どもを見てくれる安心感があります。地域の人々が皆、子どもの成長を見守ってくれていることがとても嬉しいと感じています。

かえる島

溶岩が冷え固まってできた岩（安山岩）が日本海の激しい波で削られ、カエルのような形になったことから「かえる島」と呼ばれています。

撮影場所：香美町今子浦



将来へ残したい山陰の魅力を教えてください

この地域の風景を、住む人々も含めて残したい。

ジオパークの仕事を始め地域の方々とふれあううちに、自分の意識も変わっていきました。当初は「面白い地質を多くの人に知ってもらいたい。」と思っていましたが、地域の方々と話をすることで、皆さんがもつ知識や感覚、意識など多くのことを学び、「むしろ私が教わりに来たんだな。」と思うようになりました。そして、地域の皆さんを何らかの方法で応援したいという意識を持つようになりました。

地域の方は皆、ふるさとを愛する気持ちがあり、自分の地域に誇りをお持ちです。地域の方から、「これまでこの地区がすごいと教わったことがなかった。ジオパークがきっかけで魅力的な地域であることが分かり、子どもたちにも教えられるようになった。」と言ってもらえたこともありました。

この地域の自然や風景を、そこに住む人々も含めて残していきたいと思っています。また、学んだり楽しんだりする方法や、地域の誇りを語り継いでいきたいですね。

みんなで学び、より良い場所を作っていくようなコミュニティを将来に残したい。



丹後砂丘・久美浜・
兜山エリア

砂地を生かした名産品！

なぜ久美浜湾の牡蠣や
丹後砂丘のフルーツは
おいしいのか？



旅館兼漁師
松田さん

日本海側で牡蠣養殖を行っている
数少ない場所

「久美浜かき」が養殖される久美浜湾は、砂州（さす）によって日本海と隔てられ、荒波の日本海に面しているながら波静かな場所です。湾のため閉鎖性が強く、多雨多雪な気候がもたらす山からの豊富な水によって、ミネラルが湾内に流れることでおいしい牡蠣が育ちます。

久美浜湾の牡蠣養殖は、昭和30年初頭から行われており、海が荒れて漁に出ることができない冬のために始まりました。また、内湾で潮の満ち引きが少ないため、牡蠣をとりに行けない日がほとんどなく、作業しやすいことも牡蠣養殖が発達した理由の一つです。



久美浜かきの特徴は？

- ・久美浜湾の牡蠣は近くの民宿など地元で消費されることが多いので、あまり市場へ回らない。食べたい方は久美浜へ。
- ・味が濃く、火を入れても小さくならない。

久美浜湾の
牡蠣の養殖風景



久美浜湾に浮かぶ牡蠣棚と背後の山地が織りなす風景は、「久美浜湾カキの養殖景観」として、京都府選定文化的景観に指定されています。冬の牡蠣棚の上にうっすら積もる雪風景はとても美しいものです。

丹後砂丘のフルーツがおいしい秘密を探る！



日本海から吹く季節風で砂が大量に集まりできた丹後砂丘。砂丘は水はけが良く、砂は比熱が小さいため、温まりやすく冷めやすいという性質を持ちます。保水力の無い砂丘では水の確保が課題でしたが、水脈が見つかったり、スプリンクラー施設が普及したことで、様々な野菜や果物が作られるようになりました。

砂丘地を活かした農業に地域をあげて取り組んでおり、梨、砂丘甘藷（サツマイモ）、スイカ、メロン、トマトなどが栽培されています。特にメロンの栽培が盛んで、ブランド化されているものもあります。

砂地だとなぜ甘いフルーツになるの？

作物は水分量が多いと糖度が下がってしまいますが、砂丘は水はけが良いため、凝縮した甘味の作物が育ちます。1日の中で寒暖差が大きいと糖度が高くなると言われており、その美味しさに影響しています。砂地がやわらかいため、大根やサツマイモなど根菜類は綺麗にまっすぐ育ち、表面

が綺麗に仕上がります。さつまいもは味がぎゅっと詰まり、形もずるとして綺麗なため、砂丘ブランドとして市場でも高く評価されています。

一方、水はけがよいので大きく育てる苦労や、急な寒さで果実が割れてしまうという苦労もあります。

自慢のロングビーチ！
海水浴場に沿って並ぶ旅館

延長約7kmに及ぶ丹後砂丘の海岸線には、小天橋、葛野浜、箱石、夕日ヶ浦の4つの海水浴場があります。

これらの美しいロングビーチは、夏に多くの海水浴客で賑わいます。また、冬になるとカニを目当てとした旅行客で賑わいます。夕日ヶ浦などでは、美しい夕日を見ることができます。



小天橋/久美浜湾



夕日ヶ浦



小天橋海水浴場

海浜植物の宝庫！

海浜植物は鮮やかな花を咲かせ、砂浜に彩りを添えてくれます。丹後砂丘は箱石を中心に海浜植物の宝庫となっています。海浜植物を傷つけないように木道も整備されているので、ぜひ散策してみてください。



トウテイラン



円山川・玄武洞 エリア

コウノトリのおうち事情。どこに住んでるの？

円山川周辺はなぜコウノトリが 住みやすいのか？



答えは豊岡盆地の成り立ちにあり！

豊岡盆地は縄文時代の暖かい時期、現在よりも海面が高く海の入り江でした。その後、玄武洞付近から下流は谷が狭い地形になっていることもあり、上流から流入した土砂が急速にたまり埋め立てられ、現在のような盆地になりました。

そのため、豊岡盆地は勾配が緩く、洪水が起きやすい氾濫原（低湿地）となり、水生生物が豊富に生息するコウノトリの絶好の餌場となりました。低湿地は今では田んぼとして利用され、コウノトリ野生復帰の舞台となっています。



玄武岩 玄武洞公園 豊岡盆地と円山川

豊岡盆地は「コウノトリの聖地」！？

コウノトリは縄張り意識が強く、お互いが見えない環境を好みます。豊岡盆地では周辺の山々に入り組んだ谷が多くあることから目隠しとなり、複数のコウノトリ夫婦が営巣するのに適した場所になっています。湿地（餌場）と尾根に囲まれた地形（住処）がセットになっている豊岡盆地は、まさに「コウノトリの聖地」なのです。



豊岡の暮らしに欠かせない玄武岩

玄武岩の石柱が作り出す国の天然記念物「玄武洞」。160万年前の火山活動により噴出したマグマが冷えて固まる時に、規則正しいきれいな割れ目「柱状節理」ができました。その柱状節理を見ることができます。

円山川はしばしば氾濫を起こして、人々を苦しめてきました。豊岡の人は昔からこの六角形の石を使い、洪水対策として床を高くする石積みや護岸を作り、水害を乗り越えてきました。



玄武洞公園 / 青龍洞

コウノトリに出会える場所！

豊岡盆地は湿田や川の浅瀬など、水辺の生きものを育む環境が豊かな「コウノトリの聖地」です。



コウノトリの野生復帰！

1971年豊岡を最後に日本の空から姿を消したコウノトリ。1985年に海外から野生の幼鳥を譲り受けたことをきっかけに、(1965年から続く)人工繁殖が軌道に乗りました。2005年には試験放鳥を始め、日本の空にコウノトリが帰って来ました。その後、コウノトリの生息地は日本各地に広がり、2024年11月時点で約460羽が生息しています。

湯杓(ゆしゃく)

湯杓は道智上人の手をかたどっているといわれています。昔の人は、道智上人や観音様の手によって汲んでいただいた『尊いお湯をいただく』という、感謝の気持ちで温泉に入っていたそうです。



温泉寺住職 小川さん

城崎温泉の歴史はどのように 守られてきたのか？ 温泉の物語を紐解く！

城崎温泉と温泉寺

城崎へ来た僧侶の道智上人(どうちしょうにん)が、難病の人々を救うため修行を行った末、720年に温泉が湧出し、城崎温泉が開かれたと伝えられています。その後、道智上人は温泉寺を開創。城崎の温泉を守護する寺として、長い歴史を歩んできました。温泉寺に参拝して湯杓を授かった後に入湯する「古式入湯作法」を今に伝えています。

「温泉寺縁起図」には、湯治客は白い浴衣を、村人は色つきの着物を着ていたことが描かれています。薬師像の前で跪いて拝んでいる人の姿もあり、城崎は深い信仰の中にあった様子がうかがえます。



城崎温泉の街並み

暮らしの中心に「お湯」がある街

1925年に発生した北但馬地震の際、城崎の多くの家屋が地震で倒壊し、火災等で人々が亡くなりました。しかし温泉が出続ける限り町を復興しようと、住民たちの努力で再興していきました。城崎の住民は温泉に誇りを持ち、暮らしの中心に「お湯」があったからこそ、「湯を守る」という意識が、再興に繋がったと想像できます。



温泉寺縁起図



温泉寺 本堂

城崎温泉街に玄武岩！？ 暮らしに溶け込む玄武岩を探そう



北但馬地震からの復興工事の際、城崎の大通りを流れる河川の護岸には、玄武岩が使用されました。玄武岩は非常に硬く丈夫。規則正しく積まれた玄武岩の岩肌が、城崎温泉の景観を作り出しています。明治時代の終わりには玄武洞の採石が禁止となったため、現代に残る玄武洞の玄武岩を使った暮らしや景色は貴重なものとなっています。

玄武洞では、柱状節理をスライスする板状の節理も見られます。ブロック状の玄武岩は石積みその他、漬物石にも使われてきました。



**但馬海岸
(竹野・香住)
エリア**

日本海に点在する奇石や洞門を知る！

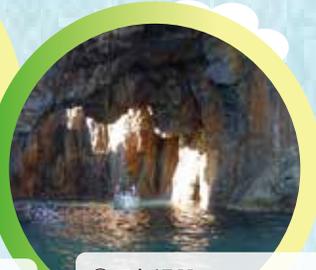
**海上のパビリオン！
但馬海岸に見どころ
が多いのはなぜ？**

観ることがない美しい景色に驚きます。

山陰海岸ジオ
パークガイド
山口さん



②はさかり岩
2つの岩柱に直径3~4mの丸い岩が挟まっている奇妙な姿が印象的。



③五色洞門
遊覧船でも入れるほどの大きな海食洞。天井から降り注ぐ光が五色に輝く。



多種多様な岩石の彫刻が見られる理由

但馬海岸は、海食崖や洞門、岩礁などの海食地形が集まっており、複雑な海岸線と力強い岩の造形が特徴です。

但馬海岸では、大陸時代の化石や、日本海が形成された時の火山活動の痕跡など、数千万年にもわたる地球のドラマがコンパクトに集結しています。それらは荒波で削られた岩石の彫刻として海岸線に並び、船などから観察することができます。

「そっくり岩」と洞門が大集結！

多種多様な地質の岩石が露出していることから、色、形が全く異なる景観が連続します。

昔から、そんな岩を人は何かに見立てて名付けてきました。あなただけの「そっくり岩」を名付けてみてください。



①猫崎半島



④白石島(白牛)



⑦めがね洞門



⑧釣鐘洞門

⑤鐘の袖
(よろいのそで)
高さ約65m、幅約200m、傾斜度約70度でそそり立つ断崖。崖のほとんど全てが柱状節理の発達した流紋岩からなる。



岩石の彫刻は美しさに魅了された人々が名付けてきた！

但馬海岸は、日本海形成前後のドラマを見られる場所で、多様な「岩石の彫刻」が並んでいます。それらを観察して、地球の営みに思いを馳せることで、自然の雄大さが感じられ、日常を忘れリフレッシュできる場所です。昭和の時代から遊覧船利用が始まり、現在も多くの観光客が絶景を楽しんでいます。

「日本海形成」を今に伝える緑の石〜グリーンタフ〜

日本列島が大陸の一部であった時代から、日本海が形成され現在にいたるまでの地球の歴史が山陰海岸の岩石に残されています。中でも特徴的な岩石はグリーンタフ(緑色凝灰岩)で、日本海側を中心に分布しています。

グリーンタフ(田久日地区)
火山活動が湖底や海底で起きると、岩石の成分が変化し、緑色になることがある。こうしてできた緑色の凝灰岩をグリーンタフという。



大陸から日本列島が分かれるまで



約7000万年前



約2000万年前



約1500万年前



(山陰海岸国立公園)
現在

日本列島はまだ大陸の一部でした。そこでは火山活動がおり、地表には火砕流が流れ、地下深くではマグマがゆっくり冷えて花こう岩などが出来ました。

大陸の縁辺が割れはじめました。大地が割れる時にできた窪地には川や湖ができ、そのほとりにほゾウやシカなどの動物が暮らしていました。その後大地のへこみは拡大し、日本海になり、火山活動は多くの火山岩を生み出しました。

日本列島がほぼ現在と同じ形になりました。大地の活動は継続し、複数の火山が活動して、同時に海岸にはリアス海岸や段丘が、山には深い谷や美しい谷が出来ました。平野や盆地、砂丘ができ、やがて人々がこの地に住むようになりました。

竜宮城を思わせる海中のミュージアム

山陰海岸の海中は、陸上と同様に起伏に富む地形となっており、砂地、磯場など、場所それぞれに多様な生態系が育まれています。また、対馬暖流の影響を受け、南方系の魚類や小動物を比較的多く見ることができます。

透明度が高いため、生い茂る藻場のゆらめきや、「海の宝石」とも呼ばれるウミウシたち、海のアイドルであるダンゴウオなど、竜宮城のような世界が広がっています。



藻場



アオウミウシ

海中の清掃活動も



海洋ごみは陸上に打ち上げられるとともに、海中にも溜まります。竹野地域では、ボランティアによる海中清掃が定期的に行われおり、ダイバー、釣り人、カヌー愛好者等が「いつも楽しませてくれる海への恩返し」として参加しています。

たじまみほのうら
但馬御火浦・
浜坂エリア

今と昔。暮らしの変化はどんなことだろう？

海と生きる！ かつて陸の孤島だった 集落での生活を知る！

三尾はどこよりも美しい場所だと思う

三尾の漁師
前田さん



リアス海岸がつくりだす個性豊かな集落たち

山陰海岸国立公園内には小規模な漁村が点在しており、風雪に耐えるよう板囲いをした家々の景色や焼杉板を使った家屋の景観が特徴的です。

昔からこの地域では、時には海の恩恵を受けながら、時には冬の強風や荒波等の厳しい環境に耐え忍び、工夫を凝らしながら暮らしてきました。かつては陸路での往来が困難であり、集落それぞれでの暮らしが発達したため、イカの干し方だけでも集落ごとに違うなど、個性が際立っています。

陸の孤島だった集落の暮らし —三尾地区—

かつては険しい陸路での往来・運搬が困難であり、主な交通手段は漁船。海が荒れる冬場は「陸の孤島」だった新温泉町三尾(みお)の集落。昭和30年前後には80軒ほどの家がありました。田畑はほとんどありませんでしたが、海で獲れるサバ、イワシ、スルメイカ等を食料とするだけでなく他地域に販売(物々交換)することで生活していました。また、冬に作る保存食「なれずし」といった郷土料理が重宝されました。

昭和27年に旧三尾トンネル、昭和57年に新三尾トンネルが開通し、陸路が開かれました。現在は、漁業と並行して漁船による海上タクシーの運航が行われており、船でしか行けない洞門などを間近に楽しむことができます。



トンネルができる前はまさに陸の孤島状態だったの

海岸沿いの険しい道の先に小さな漁村が位置しているの

三尾大島(柱状節理)

旭洞門
離水洞門
海面から3mの高さ



焼杉板のまちなみ



山陰海岸国立公園では、焼杉板(やきすぎいた)が並ぶ美しい街並みが見られます。焼杉板は日本海特有の強い潮風や砂から家屋を守るために、表面を焼いて炭化層を作り

耐久性を持たせる伝統的な技法です。どこか懐かしい焼杉板が並ぶ漁村を散策してみるのもおすすめです。

但馬御火浦伝説

「但馬御火浦」という地名の由来となった伝説が、三尾では今も語り継がれています。～その昔、神功皇后が朝鮮へ出兵した際、三尾沖で船が遭難した。濃霧の中、重臣が祈ると、暗闇に一筋の光が見え、入り江にたどり着き難を逃れた。三尾の浦(みおのうら)の村人が焚いたかがり火で助かったことから、神功皇后はお礼に「御火浦(みほのうら)」の名を贈ったのです。～

リアス海岸と北前船の風待ち港

北前船(きたまえぶね)は、江戸時代から明治時代にかけて、北海道・東北・北陸と西日本の物流を支えた商船です。現代のようなエンジンが無い時代、風の力を受ける帆の力で航行していました。

寄港地で積み荷を売り買いしながら、米や昆布、保存食、工芸品、衣類等、様々な物を運んでおり、総合商社のような役割を果たしました。それにより、各地の産業や文化に大きな影響を与えました。

山陰海岸の入り組んだリアス海岸の地形は、日本海を航海する船にとって、絶好の風待ち港として重宝され、特に豊岡市の竹野、香美町の柴山、新温泉町の諸寄(もろよせ)などは北前船が寄港する港として栄えました。



北前船の模型(竹野北前館/豊岡市)



諸寄漁港

これらの地域には、かつての賑わいを思わせる荷下ろし場所などの史跡が残っています。現在、浜坂港ではズワイガニやホタルイカなどが多く水揚げされています。



山陰海岸の漁場が豊かなわけは？

日本海は、対馬暖流の影響や、磯や砂地等の多様な地形、2000mよりも深い深海など、多様な環境を有することから、豊かな漁場となっています。

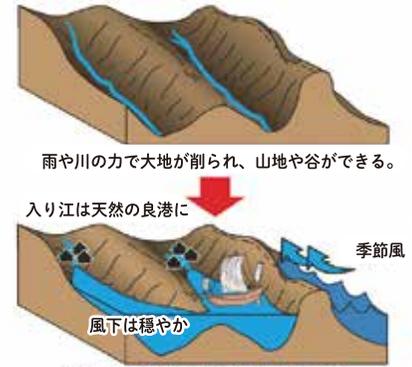
この地域の冬の味覚と言えば、ズワイガニとベニズワイガニです。日本海は多様な海底地形を持つことから、水深約200~500mに生息するズワイガニと、水深約500~2500mに生息するベニズワイガニの両方を楽しむことができます。

日本海は大陸と日本列島に囲まれた閉鎖性の高い海域です。外洋から入ってくる海水は、表層を流れる対馬暖流のみで、深海には冷たくて酸素が多い海水ができます。これは日本海固有水と言われ、カニなど冷たい海を好む生き物の絶好の住処となっています。

漁村のワカメ干しの風景

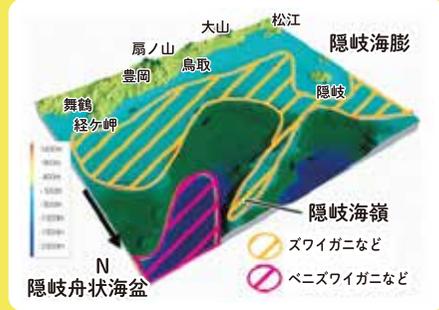


<リアス海岸のでき方>



雨や川の水が大地を削り、山地や谷ができる。
入り江は天然の良港に
季節風
風下は穏やか

海面が上がると谷は海に沈み尾根は岬になる。岬は季節風を遮り、入り江は北前船の風待ち港になる。



ズワイガニなど
ベニズワイガニなど

うらどめ
浦富海岸
エリア

厳しい環境下で暮らしてきた人々の心のよりどころ。

受け継がれる

きりんじしまい

麒麟獅子舞に込められた人々の願いとは？

麒麟獅子舞は無病息災を願う大切な行事



浦富麒麟獅子舞保存会
吉澤さん

いなば たじま

因幡・但馬の地域に愛される、人々に幸福をもたらす芸能

一角をもつ黄金の頭に緋色の衣装を纏った「麒麟獅子舞」は因幡・但馬の地域（鳥取県鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町・兵庫県新温泉町・香美町）にある約180の地域（神社）に継承され舞われています。

麒麟は中国の想像上の動物で、他の生き物を傷つけない泰平の世の象徴とされてきました。1652年に鳥取藩の藩主・池田光仲が御幸行列を始めたことが、麒麟獅子舞の発祥と言われています。さらびやかなその姿を見た人々は、幸せを呼ぶ存在として、村の祭りに取り入れ、今日まで受け継がれてきました。

麒麟獅子の隣に立っている赤い顔でひょうたんを持つ特徴的な「猩々（しょうじょう）」は、獅子の先導役を務めています。

例祭の時期や、麒麟獅子舞頭と猩々面の姿、舞い方などの様式が地域（神社）ごとに異なっていて、その多様性に驚かされます。（左の写真：浦富麒麟獅子舞保存会の獅子舞の顔は金色で、米岡神社麒麟獅子舞保存会のものは黒色です。）

厳しい環境が生んだ地域芸能

因幡・但馬地域は、日本海から吹きつける風の中で人々が暮らす地。麒麟獅子に囀んで貰うと無病息災や長生き、賢くなる等の言い伝えがあります。そんな麒麟獅子舞は、冬の季節風や日本海の荒波、多雪、砂地など、厳しい自然環境の中で生きる人々の心のより所になってきました。



冬の浦富海岸（鴨ヶ磯）

伝統芸能を将来へ繋ぐために

麒麟獅子舞は獅子舞・猩々・笛・太鼓・鉦などそれぞれの役割毎に継承が必要です。

担い手不足等の課題に直面しながらも、地域の先人から受け継いだ麒麟獅子が舞う姿を残すための努力が続けられています。

うらどめ お殿様も絶賛した浦富海岸は今、みんなのたからもの

大陸時代の花こう岩がもたらす白砂青松の絶景

浦富海岸は、岩美町の約15kmにわたる海岸線で、東部には砂浜が、西部には日本海の荒波により花こう岩が浸食されてきた岩々からなる岩石海岸が広がります。この花こう岩は日本列島がまだ大陸の一部だった頃にできたものです。

浦富海岸のシンボル「千貫松島」には1本の見事な松が生えています。江戸時代、鳥取藩主の池田侯がここで舟遊びをした時、あまりの美しさに「我が庭にこの岩つきの松をうつすことができた者には禄千貫を与えよう」と言ったことが、名前の由来とされています。当時の松は枯れ、今は二代目の松が育っています。

お互いにゆずりあう海

浦富海岸では、漁師や遊覧船、カヤックなどのアクティビティ事業者といったさまざまな生活基盤を持つ人々が共に譲り合いながら海を利用しています。

遊覧船は昭和38年から運行しており、その景勝と、透明度25mの「岩美ブルー」とも呼ばれる透き通った海を船上から堪能できます。船長による軽快な解説付きで、天気や波の様子、今とれる魚の説明など、日々変化する海の様子を教えてください。また、船長の高度なテクニックにより、岩肌まで船を近づけてくれることも魅力です。

マリナクティビティに限らず、山陰海岸ジオパークトレイルを歩くのも楽しいエリアです。



鴨ヶ磯



千貫松島



漁師町ならではの干物は絶品



岩美の漁師町では新鮮なスルメイカやカレイなどを手作業で干物にします。地域毎に作り方が異なり、隣の地域どうしても「網代ののれん干し」と「田後のすだれ干し」のような違いが見られます。日本海から吹く潮風を浴びた肉厚の干物は優しい塩味となり、天日で干すため網で焼いても皮がくっつきにくく、皮はパリッと身はふわっとして絶品です。

日本海から吹く潮風を浴びた肉厚の干物は優しい塩味となり、天日で干すため網で焼いても皮がくっつきにくく、皮はパリッと身はふわっとして絶品です。

山陰の漁。磯見漁とは？

磯見漁は「箱メガネ漁」ともよばれる漁で、歯で箱メガネを噛んで固定し、片手で船の櫓（ろ）を漕ぎ、反対の手にもりを持って獲物を狙う、難易度が高い漁です。主に水深約5mにある貝（さざえ、あわび等）や海藻をとっています。

磯見漁は山陰海岸の各地で行われてきましたが、継承する人が減少しているのが現状。波が立つのを防ぐため、磯見漁を行っている場所では船をゆっくり走らせる等の配慮がなされています。



鳥取砂丘 エリア

砂・風・植物が作り上げる砂丘だからこそその景色！

砂が動く 「生きている」砂丘!? 鳥取砂丘の秘密を調査！



川と海と風の対話で生まれる砂丘

日本有数の観光地である鳥取砂丘。「なぜ鳥取に砂漠があるのだろうか？」と不思議に思ったことはありませんか？

「砂漠」は、年間降水量が250mm以下の場所、あるいは降水量より蒸発量が多いためにできる場所のことで、実は降水量の多い鳥取の「砂丘」とはできるプロセスが異なるものなのです。

鳥取砂丘の砂は、中国山地の岩石が風化して砂になったものです。砂は、雨に流されて千代川（せんだいがわ）に集まり、日本海まで運ばれます。海底に堆積した砂が荒波によって海岸に打ち上げられ、冬の強い季節風によりさらに内陸に運ばれることが繰り返されることで、広大な鳥取砂丘が作り出されました。

鳥取砂丘は生きている！?

砂丘の砂は風速4~5mになると動き始め、風速5~10mの時は砂面に美しい「風紋」ができます。降雨の後に風速12m以上の強い風が吹くと「砂柱」と呼ばれる微地形ができることもあります。静寂のイメージがある砂丘ですが、砂が活発に動く「生きている」場所なのです。砂が流動することで植生が発達しにくくなり、砂丘が砂丘のまま維持されています。

砂丘は、水はけがよいため乾燥しやすく、激しく砂が吹き付ける場所であるため、植物にとって過酷な環境です。ハマヒルガオ等このような環境にも耐えられる植物だけが生き残り、砂丘独自の生態系が成り立っています。



鳥取砂丘の風紋



ハマヒルガオ

人々が守り継いできた砂丘



鳥取砂丘は戦時中、軍の演習地として使われていました。戦後は食糧難から全国の砂丘の多くが農地等へ転換されていき、鳥取砂丘でも開拓が進められていきました。それに対し有志が立ち上がり、砂丘保護活動が始まりました。その後、天然記念物や、国立公園に指定され、開拓から保護されたのです。現在、鳥取砂丘は砂防林や治水の影響等により砂の動きが弱まり、草原化が進んでいます。また、外来植物の侵入などの課題も出てきています。本来の砂の動く生きている砂丘を守るため2000年代以降、ボランティアなどによる除草活動が始まりました。鳥取砂丘の景観と自然を守る取組は今も続いています。



厳しい環境が育む白い宝石 なぜ鳥取砂丘にらっきょう畑が 広がっているのか？

JA鳥取
いなば
岡垣さん



砂丘でらっきょうが栽培される理由

全国で江戸時代から砂丘地の開拓が進められましたが、鳥取砂丘の最も東にある福部（ふくべ）砂丘は、海拔70mもあり水が得にくく、風で飛ぶ砂も多かったことから、開拓が大きく遅れました。福部での本格的な開拓は大正時代に始まり、大規模ならっきょう栽培はスプリンクラーが導入されるようになった戦後からです。そんな福部で、なぜらっきょうが作物として選ばれたのでしょうか？

らっきょうは生命力が旺盛です。砂丘では、夏は砂の表面温度が60℃以上、冬は氷点下にもなります。他の作物も試された中、らっきょうだけが寒さにも乾燥にも耐えることができたのです。

また、らっきょうは夏に植え付けを行い、秋に花を咲かせ、冬を越し、春に収穫されます。冬に砂丘がらっきょうの葉で覆われることで、季節風による飛砂対策につながることも、らっきょうが選ばれた理由です。



植え付け作業(夏)



らっきょうの花(秋)



雪に埋もれるらっきょう畑(冬)



らっきょうの収穫(春)

砂丘のらっきょうが美しく美味しい理由

鳥取砂丘のらっきょうは、砂地により水が少ない環境のため実が大きくなりやすいことから、一枚一枚の皮が薄く、厚みが均等になります。それがシャキシャキとした歯切れ良さに繋がっています。

また、らっきょうの色合いは栄養素の多い所でつくと餡色になり、栄養素が少なくなるにつれ色白となります。砂丘畑は栄養素等を保持する力が弱いため、白い実になります。砂地の特性がもたらす歯応え、美しさが砂丘のらっきょうの特徴です。

砂丘地のため機械化が難しく、手間暇かけて育てられるらっきょうは、砂丘に磨かれた白い宝石のようです。

砂丘一面に広がる らっきょうの花畑は 知る人ぞ知る名所。

海の青さ、赤紫色のらっきょうの花が織りなす鮮やかなコントラスト。他にはない見応えのある景色が広がるのは10月下旬~11月上旬ごろ。鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会が行われるなど、砂丘と合わせて見所となっています。

国立公園のルールとマナー

多くの方に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

ルール 守ってください。場所によっては法律で規制されています。



動植物・石を持ち帰らないでください。生態系のバランスが崩れるだけでなく、次に訪れる人のためにも。



美しい浜辺を保護し、野生動物の誘引や山火事を防ぐため、キャンプやたき火、バーベキューは決められた場所以外ではしないでください。



あなたの次に訪れる人が気持ちよく利用するために、施設は大切に使用してください。落書きは犯罪（器物損壊）です。



野生動物に餌を与えないでください。

マナー みんなが快適に国立公園を利用できるように、自然と他所に思いやりを持って接しましょう。



無理のない行動計画を立てましょう

事前に情報収集し、無理のない行動計画を立て、自己責任で行動しましょう。特にトレッキングでは、天候やアクセス、歩道情報を事前入手することで、事故を防止しましょう。



安全運転を心がけましょう

野生動物との衝突は、野生動物の生存を脅かします。また植生や生態系の保護のため、自転車・バイク等の乗り入れ規制がされている地域もあるので、事前に確認しましょう。



トイレを事前に確認しましょう

トイレがない場所もあるので事前にトイレを済ませるか、携帯トイレを使用しましょう。排泄物による水質汚染や土壌汚染を防ぎます。



木道や歩道から外れずに歩きましょう

道迷いを防ぐだけでなく、植物が踏み荒らされる等の、自然環境の変化を防ぎます。また歩行にストックを使用する際は、歩道の浸食を防ぐために、保護キャップをつけましょう。



ごみは捨てずに持ち帰りましょう

国立公園の風致景観を保護するとともに、ごみの臭いによる野生動物の誘因を防ぎます。



潮の干満時間や潮位、潮流などの海での注意事項を事前に確認をしましょう

離岸流などの急な流れに巻き込まれる、満潮時に磯などに取り残されるといった事故を防ぐために、事前に情報収集しましょう。



食べ残しは捨てないように、あらかじめ対策を考えましょう

自然に還るからといって捨ててしまうと、付近の植生にダメージを与えてしまいます。



喫煙は決められた場所で行いましょう

歩きながらの喫煙は、他の人の迷惑になります。また、火事の原因にもなりますので、灰や吸い殻は持ち帰りましょう。



地域に配慮しましょう

国立公園は、人の生活する場も含まれています。農林漁業を妨げる行為や私有地への勝手な立ち入り、騒音など、その地域で生活する人が困るような行為はやめましょう。

美しい山陰海岸を未来に残すために

- 海洋ごみ問題に取り組むひと -

カヤックでしか行けないビーチをきれいに、お客様の力をかりて

毎年続けるビーチクリーンの原動力は「綺麗であってほしい」という地域への思い。

みなとホリデイ 松岡さん



小田橋観光協会 和田さん



お掃除カヤック

「海にこんなゴミがあるなんて知らなかった！」お掃除カヤックの参加者の声です。

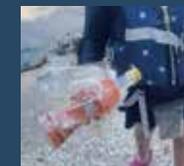
透明度が高く本当に綺麗な新温泉町・居組(いぐみ)の海ですが、カヤックでしか行けない岸には日々、海洋ごみが溜まり続けています。

美しい大自然を楽しみながら、環境問題にも目を向けてもらうことを目的としてお掃除カヤックをスタートしました。毎年参加してくれるリピーターの方もおられます。大好きな居組の海を、参加者の皆さんと楽しみながら守っていきたくです。

地域のビーチクリーン活動

日本の海水浴場 88 選である小田橋海水浴場では、観光協会会員により定期的なビーチクリーン活動を行っています。海水浴シーズン前の6月には4日間かけて広い範囲の清掃を行っています。海外から漂着するごみも多く、集めたゴミの処理は大規模なものです。

京丹後市の中学校では海岸清掃を行う環境学習の一環として海岸清掃を行い、海洋ごみ問題を学んでいます。関西の大学生が100名ほどでゴミ清掃に来てくれたこともあります。人口減少等の課題もありますが、地域の若者が動いてくれており、これから更に活動が盛り上がっていくことを願っています。



発行年：2025年

発行元：近畿地方環境事務所

山陰海岸国立公園ウェブサイト
<https://www.env.go.jp/park/sanin/>

国立公園公式 Youtube チャンネル
<https://www.youtube.com/@nationalparksofjapan5366/>

国立公園インスタグラム
https://www.instagram.com/nationalpark_japan_jp/



写真協力：鳥取県・T-style 田中陽介・吉澤敏彦 等
 イラスト：農民イラスト・mow 等



※この他にも県市町の条例により禁止されている行為もあります。ルールやマナーを守って美しい国立公園を次世代へ繋ぎましょう。



今までも、
これからも。

今ここにある美しい自然と豊かな資源は、この地を選び、この地で生き続けてきた先人から大切に引き継がれてきました。

社会、環境に大きな変化が訪れている今、この恵みを次の世代に繋げるバトンが私たちの手に渡ってきています。

自然への感謝の気持ちを受け継ぎながら、未来へと繋いでいきたいですね。

